



今年は残暑きびしいです。その中、2人目の孫、「ころ」が8月25日に誕生しました。親となる長男夫婦にとっても、われわれ爺婆にとっても待ちに待った女の子です。われわれは午前3時半に連絡を受け、午前中に移動、成城学園前にある病院に行きました。

おそるおそるの手で3580gの孫を抱いた時、生命の尊さをその重みに感じ、何よりも背後にあって守り導かれた神に感謝しました。

その10日後、

「幸いなことよ 主のさとしを守り心(ころ)を尽くして主を求める人々。(詩篇 119 篇 2 節)と、イエス様の第一の戒めにちなんで、『ころ』と名付けた」と連絡がありました。

パリサイ人たちはイエスがサドカイ人たちを黙らせたと聞いて、一緒に集まった。そして彼らのうちの一人、律法の専門家がイエスを試そうとして尋ねた。「先生、律法の中でどの戒めが一番重要ですか。」イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが、重要な第一の戒めです。

『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」(マタイの福音書 22 章 34～40 節)

ころから神を愛し、隣人を愛せる人として成長するよう祈っています。